

第 1 号 議 案

令和 6 年度 事業報告 承認の件

①概 要

当協議会の本拠地である荻窪地域区民センターは、改修工事のため令和 6 年 11 月から令和 8 年 9 月まで閉館します。今年度の大命題は、この制約のもとでいかに協議会活動を維持していくかということでした。開館と閉館の期間に合わせた事業内容を工夫して年間スケジュールを計画し、可能な限り昨年並みの事業規模を保つ努力をいたしました。

規模の大きい恒例のイベント、「さいえんす縁日」、「おぎくぼセンター祭」、「防災フォーラム」などは、開催時期がセンター改修前で、例年並みの内容で地域の皆様に提供することができました。一方、11 月以降のイベントとなった「アート展」、「地域ふれあいコンサート」、「春のこどもまつり」などは、今年度に開設された「コミュニティふらっと本天沼」に会場提供をしていただき、開催規模、内容等に工夫をして開催いたしました。その他、各種講座も、会場や開催方法を工夫し、例年に近い内容で提供できました。

一昨年来の重点項目である「若い世代向けイベント」については、今年度も前出の「サイエンス縁日」、「センター祭」の子供向け各種コーナーやステージ企画（ソーラン踊り、ヒップポップダンス）、「春の子どもまつり」等、これらの企画はいずれも大変盛況で、多くの家族連れの方々に喜んでいただきました。このほか「防災フォーラム」も、家族連れでの参加を目的とした「親子で学ぶ自主避難」という新企画を試み、楽しく充実していたとの評価を頂きました。

その他、詳細は各部の報告にゆずりますが、制約のある中、地域住民のための多彩な企画を提供できたものと自負しております。特に、センター閉館後の各種イベント開催の実績は、令和 7、8 年度に同じような状況の下行われる協議会活動にとって、よき指針となるものと評価しております。

なお協議会委員の体制ですが、年度末には 25 名となっております。

以下に、各部の活動状況の詳細を報告いたします。

「総務部」

まず地域懇談会ですが、荻窪地域区民センターの改修工事に先立ち荻窪会議室への引っ越しが10月末に予定されていることから、クローズ直前の10月19日土曜日午後2時から開催。

一部では、荻窪地域区民センター協議会の活動実績を総括、第二部で、それを受けて今後の取り組み、特に仮移転期間での活動のあり方などにつき4グループに分かれて討議、グループ毎に結果を発表。

その後、調理室に会場を移し久々の懇親会を開催、参加者のつきぬ歓談で時間を延長午後4時半まで続けました。

仮移転先へ。移転日11月25日(月)に向けて1ヶ月前より準備開始。委員の集合日である火曜日毎に順次作業。26日(火)より仮事務室にて稼働開始。

ようやく地域交流会「こみゆに亭カフェ」開催環境が確保できた為「川柳」を楽しみ、笑い声と交えたティータイムを企画したものの講師の体調不良により中止のやむなきに至ったのは残念でした。

館内研修と館外研修

館内研修は10月29日(火)午後1時より、荻窪消防署救急係、藪消防士長と消防隊員の方々から「AED、心肺蘇生について」と題し実施訓練も行いました。

また館外研修は、3月4日(火)、11時より改装が竣工しオープンしたばかりの荻外荘を見学、歴史に彩られた建物内外を懇切な解説とともに心に焼き付けました。

会長選出

11月12日(火) 午後1時に予め投じられた自薦票、他薦票を開票、その後の部会、役員会、委員会にて熊谷委員が次期会長に選出されました。

「地域交流部」

令和6年度は荻窪地域区民センターの改修工事計画により荻窪会議室への引っ越しが10月に組み込まれている年度となりました。そのためイベント計画の日程を考慮する必要がある中で計画しました4つのイベント（おぎくぼセンター祭、地域ふれあいコンサート、アート展、春の子どもまつり）をすべて実施することができました。9月8日（日）のおぎくぼセンター祭会場は荻窪地域区民センターにて、他3か所の会場は引っ越し後となりました関係上コミュニティふらっと本天沼にて開催しました。（詳細：地域交流部「集団事業費及び協働事業」）

従来から各イベントは地域の中に溶け込み多くの来場者参加に向けた計画を目指し

ていますが令和6年度も「笑顔あふれるつどいの場」とテーマを決めて、地域の来場者に寄り添う場となることを目的に進めてきました。

一方、春の子どもまつりではコミュニティふらっと本天沼にて地域性に焦点を合わせて実施することができました。各イベント会場にて買い物を楽しむ姿や、体験遊びなどで和やかに親子の触れ合う姿が多くみられました。

「事業企画部」

令和6年度、事業企画部が実施した事業の詳細は別紙のとおり、19企画延べ開催回数31回、参加人数1,109名となりました。令和5年度が23企画延べ開催回数41回でしたので、回数・参加人数ともとしては減りましたが、令和6年10月末に「荻窪地域区民センター」が改修のため、閉館したことが主な理由です。

開催講座やイベントの内容は、健康や食に関するものとして「歌を交えた口腔美エクササイズ」「腰痛スッキリ体操」「日本酒よもやま話」、文学を楽しむ「大人の絵本レッスン～素敵に生きるヒント」「初心者のための短歌教室」「いきいき朗読教室」

「初心者のための川柳教室」「すぎなみ詩歌館かるたの世界」、草花を楽しむ「多肉植物の寄せ植え」、そして、子どもたちが楽しみながら科学を学ぶ「さいえんす縁日」など多岐にわたりました。

神田山緑師匠が小学校を巡回して行う「講談出前授業」が、今年度は西田小学校で開催され、小学生が講談に接する貴重な機会となりました。「講談鑑賞会」では、怪談話で今年も好評を博しました。

「昭和100年記念めずらしい戦前の報道写真」では、貴重なモノクロ写真で、戦前の東京の様子や、文化の違いを見ることができました。

「活弁士が無声映画を語る」は、「国定忠治」や「チャップリンの放浪者」を活弁士に実演いただき、迫力に圧倒されました。参加者39名で「赤城の山も今宵限り・・・」の語りにトライしました。

「防災フォーラム」は、「親子で学ぶ自主避難」の部では、家族単位で参加してもらい、子どもだけが家にいた場合、電池の入れ方や、カップ麺や備蓄用のアルファ化米おにぎりが水でできることも学び好評でした。「震災時の防犯」の部では、震災救援所や自宅での注意点と対策について教えてもらいました。震災時には、泥棒とボランティアの見分けがつかない、飛び込み営業や警察官の詐称に注意するなど学びました。

「大人の社会科見学～杉並清掃工場」で、高井戸東の杉並清掃工場を見学しました。映像で学んだ後、実際に施設を見学し、家庭ごみに対する認識を新たにしました。

「趣味の手作りヴァイオリンのお話」では、娘さんにプレゼントするために、600時間を要し製作した苦労話を伺った後、実際にヴァイオリンを手にとって音を出して楽しみました。

「オペラ教室～オペラって何？～」では、オペラ舞台監督をしている講師から、オペラの歴史や、世界のオペラ劇場の紹介、劇場の舞台の裏話を学び、参加者全員で、モーツァルトの歌劇の合唱を練習しました。2日目には、衣装を着て、オペラ歌手になって歌を披露し、貴重な体験ができました。

「お散歩まっぷ作り～荻窪北地域を描いてみよう」では、天沼・本天沼地域を中心にお散歩コースを紹介しあい、Google Map にコースを落とし込む方法を学び、今後のお散歩コース作りにつなかりました。

当協議会のユニークな取り組みとして中途失聴・難聴者の方々にも落語を楽しんでいただける「荻窪寄席」は、会場確保などの問題から、残念ながら開催できませんでした。

「広報部」

広報紙「わたしのおぎくぼ」とホームページで、イベント・講座等の開催案内・開催報告を掲載しています。令和6年度は広報紙を年5回発行し、エリア内の小・中・高校、地域や町会等に11,000部を配布しました。地域の施設や人物を紹介している

「荻窪の人と集いの場」は連載を継続しますが、「荻窪の記憶」こぼればなしは第39回で終了しました。活動報告23号（2023年4月～2024年3月）を発行しました。広報紙に掲載し切れないイベント・講座の開催報告はホームページで全て閲覧できます。令和7年度は広報紙の発行を年6回予定しています。

各部事業の詳細

[総 務 部]

名 称	開 催 日	内 容
総 会	4 月 23 日(火)	町会、自治会、学校支援本部、ケア 24 など参加
会 計 監 査	4 月 9 日(火) 10 月 22 日(火)	令和 5 年度 決算監査 令和 6 年度 上半期監査
委 員 研 修 (館 内) (館 外)	10 月 29 日(火) 令和 7 年 3 月 4 日(火)	「AED、心肺蘇生について」 講師・藪 唯宏氏 (荻窪消防署救急係 消防士長) 「荻外荘」見学
近隣清掃 クリーン大作戦	11 月 5 日(火)	荻外荘通りの清掃活動と「荻外荘通り」プレート の現況確認
地域懇談会	10 月 19 日(土)	「荻窪地域区民センター協議会の活動について」
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	令和 7 年 3 月 1 日(土)	講師都合により中止
会則検討会	9 月 10 日 (火)	会則のあり方について検討会を実施
役員会・委員会	毎 月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、 議事録作成
経 理 業 務	随 時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、 予算執行全体の管理等

[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内 容
第 46 回 おぎくぼセン ター祭	9 月 8 日	「笑顔あふれるつどいの場」をテーマに実施 1F（アウトドア会場） 苗木配布・・・区緑化事業の一環「苗木で募金」 をつのる（16,700 円を区に寄付） 花販売・・・地域の花店に場所提供出店 遊びコーナー・・・スーパーボールすくい 1F（玄関フロアー） 杉並産野菜販売・・・1 地区 1 生産者出荷 休憩コーナー・・・フロアー利用 1F（談話コーナー） マルシェ・・・協議会出店（3 ブース）、ポップコーン 販売、綿菓子販売、飲料販売、場所提供出店 3 ブース （和菓子・焼き菓子・パン）（合計 6 ブース出店） 2F ステージ コーラス、ソーラン踊り、ヒップホップダンス、リズム 2F 体験 ふれあい体験・・・リフレッシュ体験 映像体験・・・天文講座 ほっとサロン・・・木のおもちゃで遊ぼう エネルギー協議会・・・発電体験 2F 廊下壁面 写真展示 2 グループ B2 体育室 ニュースポーツ体験（176 人参加） 来場者：約 800 名

第 46 回 アート展	12 月 14 日、 15 日	会場変更により 1 2 月に開催 今年度初めてコミュニティふらっと本天沼にて開催 出展 保育園：1 園・小学校：2 校・中学校：2 校・高等学校：1 校の作品 来場者 2 日間：約 4 0 0 名
春の子ども まつり	2 月 23 日	昨年に引き続き子どもに視点を当てたイベントを企画 「子どものためのまつり」を中心に苗木配布を取り入れる など来場者に寄り添い笑顔あふれるふれあいの場として 実施 実施場所：コミュニティふらっと本天沼 1F ラウンジ・・・駄菓子屋 多目的室（体験）・・・おり紙遊び.缶バッジを作ろう 屋外・・・苗木配布・焼き芋販売（場所貸し出店） 2F 第 1 集会室・・・おひな様と写真を撮ろう 第 2.3 集会室・・・人形劇 第 4 集会室・・・キャンディレイを作ろう 来場者：約 3 4 0 名

[地域交流部] 協働事業

事業名	開催月日	内 容
第 10 回 地域ふれあい アフタヌーン コンサート	11 月 9 日	荻窪音楽祭と協働 今夏は会場をコミュニティふらっと本天沼の多目的室と いうことで来場者人数を 30 名にした。 応募者多数のため抽選形式にした。 10 回目の今回はプロ 5 人による弦楽器、歌の公演プログラムは荻窪音楽祭の部分でもあるクラシック曲を中心に 各年齢層を考慮した演奏項目に配慮した 1 部：13：30～14：15 2 部：14：30～15：15 曲目の内容が良かったと高評価だった 再度聴きたいという要望多数 来場者：30 名（満席）
あきまつり 荻窪小学校	10 月 5 日	雨のため体育館にて実施 缶バッジ機械を持ち込み、缶バッジ作りで参加。 子ども：200 名参加
ゆう杉並 地域ふれあい デー	10 月 6 日	杉並区児童青少年課ゆう杉並の依頼を受けて参加、今年で 2 回目。綿菓子機とともに祭りに参加。綿菓子を作り配布 活動を実施した。協議会地域交流部 6 名が参加 来場者：450 名に配布

あそび市 松溪中学校	10月12日	缶バッジ機械を持ち込み、缶バッジ作りで参加。 中学生の活動を見守り共に遊びを楽しむ 地域交流部5名が参加。 子ども：250名参加
コミュニティ ふらっと本天 沼オープニン グ	10月20日	ポップコーン、綿菓子、缶バッジで参加。 地域交流部7名・総務部参加1名、広報部2名。
昔あそび 西田小学校	12月11日	協議会OBの協力により、1年生にけん玉、こま、あやとり、お手玉、羽根つき、おはじきなど共に遊び楽しむことを実施。

[事業企画部]

No.	開催月日	講座名：講師名・協働先	定員	単位	延べ参加 数(人)
			(名)	(回)	
1	4月	歌を交えた口腔美エクササイズ 岡寄峰子氏	20	2	36
2	5月	大人の絵本レッスン ～素敵に生きるヒント～ 生田美秋氏	20	3	58
3	5月	多肉植物の寄せ植え 吉野華恵氏	20	1	20
4	6, 7月	初心者のための短歌教室 平岡直子氏	20	3	43

5	6 月	◎背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操 高橋晃史氏 背骨コンディショニング協会	30	3	51
6	6 月	日本酒よもやま話 内山幸二氏	30	1	24
7	7 月 1 日	◎講談鑑賞出前授業 神田山緑氏 会場：西田小学校	80	1	80
8	7 月 28 日	◎さいえんす縁日 くらりか、OgiLOVE、サンダイヤルカフェ、 だがしや楽校、すぎなみシェアリングネイチャーの会、昆虫食		1	480
9	8 月 3 日	◎講談鑑賞会 神田山緑氏、宝井小琴氏	50	1	41
10	8 月	いきいき朗読教室 岡摂子氏	20	3	52
11	10 月 5 日	◎防災フォーラム 山城隆盛氏 杉並区危機管理室地域安全担当課長	102	1	37
12	10 月 26 日	昭和 100 年記念 めずらしい戦前の報道写真 石黒敬章氏	40	1	40
13	11 月	初心者のための川柳教室 暮田真名氏	20	3	33
14	11 月 28 日	大人の社会科見学 ～杉並清掃工場～ 東京二十三区清掃一部事務組合	20	1	14
15	12 月 8 日	活弁士が無声映画を語る 麻生八咫氏	40	1	39

16	1 月 26 日	「趣味の手作りヴァイオリン」の おはなし 高倉理氏	30	1	23
17	2 月 7 日	◎「すぎなみ詩歌館かるた」の世界 岩下武彦氏、土屋隆一氏 すぎなみ文化協会	20	1	11
18	2 月	◎「オペラ教室」～オペラって何？～ 古川真紀氏 すみださくら歌劇団	30	2	24
19	3 月 1 日	お散歩まっぷ作り 長谷川雅也氏	20	1	3
	合 計 19 回（◎協働事業 7 回・学級講座 12 回）		612	31	1,109

[広 報 部]

1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 5 回 (A 4 判・4 ページ・カラー印刷)

(2) 発行部数 No.3 6 9 ~ 3 7 3 各 1 1, 0 0 0 部

(3) 配布部数 (令和 7 年 3 月時点)

- | | |
|--------------------------------|------------|
| ① 区立小学校 5 校・区立中学校 4 校・都立高校 1 校 | 5, 5 9 4 部 |
| ② 町会・自治会回覧配布用 | 2, 4 1 9 部 |
| ③ 区及び区関連施設等配布用 (交換便) | 1, 2 2 0 部 |
| ④ 協議会委員による配布 | 8 8 5 部 |
| ⑤ 常設設置場所・その他配布・予備 | 8 8 2 部 |

合計 1 1, 0 0 0 部

(4) 発行日と (メインの記事) ※印は発刊後に延期または中止

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|---------------|
| ① No.3 6 9 | 6 月・7 月号 (表紙 さいえんす縁日) | 5 月 2 8 日発行 |
| ② No.3 7 0 | 8 月・9 月号 (表紙 おぎくぼセンター祭) | 7 月 1 6 日発行 |
| 活動報告 2 3 号 (2 0 2 3.4 ~ 2 0 2 4.3) 折込 | | |
| ③ No.3 7 1 | 1 0 月・1 1 月号 1 2 月号 (表紙 アート展) | 9 月 2 4 日発行 |
| ④ No.3 7 2 | 1 月・2 月・3 月号 (表紙 春の子どもまつり) | 1 2 月 1 7 日発行 |
| ⑤ No.3 7 3 | 4 月・5 月号 (表紙 会長挨拶・新年度活動) | 3 月 1 1 日発行 |

(5) 編集内容

- ① 協議会の事業 (講座・講演・イベント等) の開催案内、及び結果報告
- ② 総会など協議会行事の報告、委員募集、地域情報の掲載
- ③ 連載ものの掲載 (「荻窪の人と集いの場」、「『荻窪の記憶』こぼればなし」)

2. ホームページの運用

- ・講座・イベントなどの「お知らせ」を活用したタイムリーな情報発信に努めた
お知らせ掲載件数 令和 6 年度: 6 5 件 (令和 5 年度: 7 5 件)
- ・ホームページ画面から講座などの受講申込を多数受け付けた。

3. その他

- ◆年度を通し、広報部員が協議会の全ての行事・事業等取材し、写真撮影を行った。

第 2 号 議 案

令和 6 年度 事業会計収支決算報告 承認の件

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	9,233,794 円
支出決算額	8,272,900 円
差引残高	960,894 円

区への返還金	631,326 円
差引翌年度繰越金	329,568 円

I. 収 入

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	8,656,600	8,656,600	0	0	0
① 委員活動費	3,843,000	3,843,000	0	0	0
② 事業費	4,583,600	4,583,600	0	0	0
③ 事務局運営費	230,000	230,000	0	0	0
2. 諸収入	336,000	232,803	△ 103,197	0	△ 103,197
① 事業参加者収入	151,000	117,100	△ 33,900	0	△ 33,900
② 模擬店売上収入	175,000	106,211	△ 68,789	0	△ 68,789
③ 雑収入	10,000	9,492	△508	0	△508
3. 繰越金	344,391	344,391	0	0	0
合 計	9,336,991	9,233,794	△ 103,197	0	△ 103,197

Ⅱ. 支 出

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 委員活動費	3,843,000	3,555,000	288,000	288,000	0
2. 事業費	4,912,600	4,431,188	481,412	297,185	184,227
①学級講座費	434,000	362,700	71,300	60,800	10,500
②集団事業費	940,000	825,687	114,313	29,326	84,987
③地域活動事業費	45,000	43,850	1,150	1,150	0
④懇談会費	170,000	66,031	103,969	59,289	44,680
⑤広報活動費	1,578,600	1,531,598	47,002	37,002	10,000
⑥総会費	50,000	29,536	20,464	464	20,000
⑦保険料	80,000	70,950	9,050	5,250	3,800
⑧事務費	495,000	469,691	25,309	25,309	0
⑨交通・通信費	40,000	39,974	26	26	0
⑩渉外費	30,000	18,708	11,292	8,032	3,260
⑪協働事業費	1,050,000	972,463	77,537	70,537	7,000
3. 事務局運営費	230,000	183,859	46,141	46,141	0
4. 委員研修費	100,000	23,250	76,750	0	76,750
5. 諸支出金	101,391	79,603	21,788	0	21,788
6. 予備費	150,000	0	150,000	0	150,000
支出合計	9,336,991	8,272,900	1,064,091	631,326	432,765

(区への返還金) (翌年度繰越金)

Ⅲ. 残高 (収入-支出)	0	960,894	960,894	631,326	329,568
------------------	---	---------	---------	---------	---------

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
普通預金	960,894	区への返還金	631,326
		負債合計	631,326
		正味財産の部	
		繰越金	344,391
		当期収支差額	△14,823
		正味財産合計	329,568
資産合計	960,894	負債・正味財産合計	960,894

第 3 号 議 案

令和 6 年度事業会計収支決算に関する

会計監査報告書承認の件

会 計 監 査 報 告

令和 7 年 4 月 8 日 (火)

荻窪地域区民センター協議会

会 長 熊谷 伸成 様

会計監事 桑 山 務 

会計監事 三 原 紀 久 恵 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和 6 年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

第 4 号 議 案

令和 7 年度 事業計画案 承認の件

①概 要

荻窪地域区民センターは、改修工事のため令和 6 年 11 月に一時休館となりました。現時点での再開見込みは、令和 8 年 10 月となっております。

再開までの期間、当協議会の活動拠点は南荻窪の「荻窪会議室」となり、昨年 11 月より活動を行っております。

イベントや講座などは、コミュニティふらっと本天沼と荻窪会議室を中心に行うこととなります。利用できる部屋数や広さなどから活動内容には種々制約が掛らざるを得ないと思いますが、センター休館前と同レベルでの活動を目指して、代替会場の手当、野外講座の企画、諸団体との協働事業、など積極的に進めてまいります。

昨年に引き続き、新年度も以下の 6 項目を念頭に活動してまいります。

1. 人々とつながり、地域を盛り上げる「イベント」活動：

昨年度 11 月に改修工事のため協議会は荻窪会議室に引っ越しての活動となりました。令和 7 年度は、センター祭りは休止となりますが、「笑顔あふれるつどいの場」をテーマにこれまでの活動も踏まえながら、地域の人々が必要としているイベントを企画してまいります。

2. 地域のネットワークづくり：

「地域懇談会」、「防災フォーラム」、地域交流会「こみゆに亭カフェ」などを通じて人とのつながり、地域を盛り上げるイベント活動を継続して行ってまいります。

「地域懇談会」は町会・自治会や NPO 等、多くの団体との意見交換・学習できる貴重な機会となっております。

「防災フォーラム」は、若い世代の方々にも参加いただけるものを計画します。

地域交流会「こみゅに亭カフェ」は、ジャンルを限らず自由な発想での企画・運営を通して参加者に楽しんでもいただけるものとします。

3. 地域発見の機会提供：

「荻外荘通り道の愛称委員会」で「荻外荘通り」の呼称の普及と名称票管理を継続しておりますが、昨年12月に『荻外荘』が復元再建されたのを機に、「荻外荘通り」プレート設置を2か所増設し8か所にします。

荻窪三庭園（太田黒公園、荻外荘公園、角川庭園）散歩の企画や野外講座なども検討しています。

4. 生涯教育に寄与する多彩な講座の提供：

飲食を伴う講座・企画には制約がありますが、生涯教育へのヒントとなるような教養講座、文学講座、趣味の講座などを企画していきます。

また芸術・芸能関連では、昨年中断した「荻窪寄席」を再開したいと考えております。この企画は、中途失聴・難聴者の方々にも楽しんでもいただける字幕付き寄席で、他に例を見ないユニークで貴重な催しとの評価をいただいています。

毎年好評の「講談鑑賞会」は8月開催予定です。

5. 幅広い世代へ向けた企画・講座：

高齢者参加に偏りがちな講座を子育て世代や熟年層にも参加できるよう、テーマの選択や開催日時・時間の設定など工夫していきます。

親子連れで参加できる「さいえんす縁日」や「子どもまつり」は、継続致します。

毎年好評の「講談出前授業」は、本年度は桃井第二小学校への出前となります。

6. 広報活動の一層の充実：

隔月発行の広報誌「わたしのおぎくぼ」については、町会・自治会、区関連施設、地域内の区立小中学校 9 校および都立荻窪高校の全生徒、および委員による諸施設・店舗への配布を継続し、地域に役立つ情報を提供します。

また、ホームページの充実を図りタイムリーな情報発信をおこないます。
協議会の全てのイベント・講座に関して、広報誌・ホームページを通じ、開催案内から当日の取材・撮影→開催報告まで、情報発信をおこないます。

また、イベントや講座への参加がホームページからの申し込みが主となる中、オンライン応募受付システムをより使い勝手の良いものにしていきたいと考えております。

②各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	未定
		館内研修	2回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会「こみゅに亭カフェ」	2回	8月・2月
		近隣清掃クリーン大作戦	2回	5月・10月
		総務・会計業務全般		随時
地域交流部	集団事業	秋まつり	1回	9月
		アート展	1回	12月
		春の子どもまつり	1回	3月
	協働事業	地域ふれあいコンサート	1回	11月
		ニュースポーツ体験	1回	6月
		その他の協働事業		
		あそび市（松溪中学校）	1回	10月
		ふれあいまつり（ゆう杉並）	1回	10月
		あきまつり（荻窪小学校）	1回	10月
		昔遊び（西田小学校）	1回	12月
事業企画部	講座・講演	教養・文学講座	4回	9単位
		医療・健康・スポーツ講座	2回	4単位
		その他講座	4回	8単位
	協働事業	講談鑑賞会・講談出前授業・荻窪寄席		
		健康講座		
野外講座		7回	9単位	
広報部	広報活動	広報誌「わたしのおぎくぼ」発行	5回	
		活動報告発行	1回	
		ホームページの運用	随時	
共通活動		七館連絡会	6回	各部1回～2回
		部会	192回	4部×48回
		実行委員会	25回	5実行委員会、各5回

第 5 号 議 案

令和 7 年度 事業会計収支予算案承認の件

I. 収 入

(単位 円)

区 分	令和 7 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 6 年度 予算	令和 6 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 区補助金	8,643,000	8,643,000 0	8,656,600	8,656,600	△13,600
① 委員活動費	3,843,000	3,843,000 0	3,843,000	3,843,000	0
② 事業費	4,554,000	4,554,000 0	4,583,600	4,583,600	△29, 600
③ 事務局運営費	226,000	226,000 0	230,000	230,000	△4, 000
④ 委員研修費	20,000	20,000 0	0	0	20, 000
2. 諸収入	304,000	0 304,000	336,000	232,803	△32, 000
① 事業参加者収入	176,000	0 176,000	151,000	117,100	25, 000
② 模擬店売上収入	125,000	0 125,000	175,000	106,211	△50, 000
③ 雑収入	3,000	0 3,000	10,000	9,492	△7, 000
3. 繰越金	329,568	0 329,568	344,391	344,391	△14, 823
合 計	9,276,568	8,643,000 633,568	9,336,991	9,233,794	△60, 423

Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区 分	令和 7 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 6 年度 予算	令和 6 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 委員活動費	3,843,000	3,843,000 0	3,843,000	3,555,000	0
2. 事業費	4,873,000	4,554,000 319,000	4,912,600	4,431,188	△39, 600
① 学級講座費	434,000	419,000 15,000	434,000	362,700	0
② 集団事業費	940,000	790,000 150,000	940,000	825,687	0
③ 地域活動事業 費	80,000	80,000 0	45,000	43,850	35, 000
④ 懇談会費	170,000	80,000 90,000	170,000	66,031	0
⑤ 広報活動費	1,490,000	1,490,000 0	1,578,600	1,531,598	△88,600
⑥総会費	50,000	30,000 20,000	50,000	29,536	0
⑦保険料	80,000	63,000 17,000	80,000	70,950	0
⑧事務費	485,000	485,000 0	495,000	469,691	△10, 000
⑨交通・通信費	64,000	64,000 0	40,000	39,974	24, 000
⑩渉外費	30,000	10,000 20,000	30,000	18,708	0
⑪協働事業費	1,050,000	1,043,000 7,000	1,050,000	972,463	0
3. 事務局運営費	226,000	226,000 0	230,000	183,859	△4, 000
4. 委員研修費	100,000	20,000 80,000	100,000	23,250	0
5. 諸支出金	114,568	0 114,568	101,391	79, 603	13,177
6. 予備費	120,000	0 120,000	150,000	0	△30, 000
合 計	9,276,568	8,643,000 633,568	9,336,991	8, 272, 900	△60, 423

第 6 号 議 案

会則改正の件

1. 会則第 7 条関連

(1) 第 1 項

第 1 項第 1 号に定める選出区分の団体等の明記中、

オ、青年団体、女性団体、障害者団体、高齢者団体、消費者団体及び労働者団体
カ、委員会が決定する上記以外の地域活動団体。

と分けて記されている団体等を一本化し委員会で決定できるように改める。

オ、福祉、教育、コミュニティ啓発等で社会貢献の実績があると委員会が認定する
上記以外の地域活動団体

現 行	改 正 案
第 2 章 運 営 組 織 (委員の選出) 第 7 条 会の運営のため、次の各号に掲げる区分により選出した 38 名以内の委員を置く (1) 荻窪地域内の以下の団体から推薦を受けた者 20 名以内 ア、町会・自治会 イ、中学校 PTA 及び小学校 PTA ウ、青少年育成委員会 エ、商店会 オ、青年団体、女性団体、障害者団体、高齢者団体、消費者団体及び労働者団体 カ、委員会が決定する上記以外の地域活動団体。	同左 同左 アからエ 不変 オ、福祉、教育、コミュニティ啓発等で <u>社会 貢献の実績があると委員会が認定する上 記以外の地域活動団体</u>

2. 会則第 7 条関連

第 1 項第 3 号に定める委員の選出に関し、「地域内の住民」とあるところ、

本会の運営に熱意のある者であれば、近隣等の住民にも対象を拡大することにより協議会活動のより活発化、充実化を図る。

現 行	改 正 案
第 7 条 (3) 荻窪地域内の住民で本会の運営に熱意のある者で、委員会に諮り選出された者 14 名以内	第 7 条 (2) 本会の運営に熱意のある者で、委員会に諮り選出された者 14 名以内。 <u>この項により委員となる者は荻窪地域内の住民を原則とするが、委員会の承認を得た場合はこの限りではない。</u>

3. 任期規定関連

任期に関し、2 期を超えての選任の表記が区々であるため、「再任」(延長)と改める。また、現行規定では会長は委員としての再任(・延長)を禁じているが、会長としての再任(・延長)のみを禁ずることとするもの。

現 行	改 正 案
(委員の任期) 第 8 条 委員の任期は、1 期 2 年とし、2 期を原則とする (2 項 略) 3 会の運営上必要な場合、委員会の承認を得て、1 期を限度に延長することができる。 ただし、会長職にあった委員はこの限りではない。	(同 左) 3 会の運営上必要な場合、委員会の承認を得て、1 期を限度に<u>再任(・延長)</u>することができる。 <u>ただし、会長は再任できない。</u>

4. 第 15 条関連

委員の選任・承認について明確化する。

委員の選任は委員会の決定事項であり、総会はその決定を承認することとなっている。

(会則第 15 条第 4 項第 4 号 第 7 条第 1 項第 3 号、第 3 項、第 4 項)

また、「補欠・補充」はそれぞれが規定されている条項に明記されており、選任規定の条項では記載不要であることから削除したものである。

24

第 7 号 議 案

委員の承認の件

*：空欄は推薦団体なし

25期 委員名簿（新任）

氏 名	推 薦 団 体*
河合 淳子	OgiLOVE（おぎらぶ）
鈴木 知子	
町田 恵子	OgiLOVE（おぎらぶ）
望月 博元	東京税理士会荻窪支部

23期(再任)・24期（留任） 委員名簿

氏 名	推 薦 団 体*
伊藤 久美子	
上田 昌子	NPO法人すぎなみ栄養と食の会
大石 正明	
香取 真実	
菊野 一雄	
熊谷 伸成	町 会
杉原 幸一郎	町 会
竹田 佳保利	
武山 尚道	
中島 圭子	
西島 肇	
平沢 昌子	
弘中 義夫	
松尾 光	
三谷 啓子	町 会
三原 紀久恵	東京税理士会荻窪支部
山中 靖之	商店会

(参考資料)

委員名簿

令和7年4月22日現在

役職・所属	氏名	期	住所	選出区分
会長	熊谷 伸成	23期	宮 前	町会
副会長	西島 肇	24期	荻窪	地域住民
	香取 真実	23期	本天沼	地域住民
会計監事 (2名)	三原 紀久恵	24期	荻 窪	東京税理士会荻窪支部
	望月 博元	25期	荻 窪	東京税理士会荻窪支部
(経理担当) 総務部 (3名)	◎ 杉原 幸一郎	23期	南荻窪	町会
	○ 上田 昌子	23期	清 水	NPO法人 すぎなみ栄養と食の会
	中島 圭子	24期	宮 前	地域住民
地域交流部 (5名)	◎ 西島 肇	24期	荻窪	地域住民
	○ 平沢 昌子	24期	荻 窪	地域住民
	武山 尚道	24期	清 水	地域住民
	松尾 光	24期	南荻窪	地域住民
	町田 恵子	25期	荻 窪	OgiLOVE(おぎらぶ)
事業企画部 (6名)	◎ 香取 真実	23期	本天沼	地域住民
	○ 山中 靖之	24期	南荻窪	商店会
	菊野 一雄	23期	荻 窪	地域住民
	弘中 義夫	23期	荻 窪	地域住民
	竹田 佳保利	24期	荻 窪	地域住民
	河合 淳子	25期	荻 窪	OgiLOVE(おぎらぶ)
広報部 (4名)	◎ 大石 正明	24期	荻 窪	地域住民
	伊藤 久美子	23期	南荻窪	地域住民
	三谷 啓子	24期	上 荻	町会
	鈴木 知子	25期	南荻窪	地域住民
21名	◎印：部長 ○印：副部長 23期：7名、24期：10名、25期：4名			